

# ほ におい 穂 番 タイムス <8月号>

## 北方四島交流センター（ニ・ホ・ロの最近の出来事）

8月は、「北方領土返還運動全国強調月間」です。全国各地で様々な啓発事業が行われています。

返還要求運動原点の地、根室市においても4日に「北方領土返還要求根室市民大会」、18日には「北方領土ノサップ岬マラソン大会」が行われました。

## 全国の青少年・教育指導者が来館！

8月17・18日、全国の中高生と教員を対象とした「北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会」が返還要求運動原点の地 根室市で行われました。



同研修は学校現場での北方領土学習の充実と後継者育成を図ることを目的に、北方領土問題対策協会（北対協）が主催するもので、根室市総合文化会館と北方四島交流センターを会場に教育指導者65人と中高生47人（ほか引率教員6人）が参加し、元島民や返還運動関係者の話に耳を傾け、領土問題への理解を深めました。



## 来館者ニュース

### 「ふくしまキッズ夏季林間学校」参加生徒の皆さん。

8月16日、ふくしま原発事故の影響で、外での活動に制限がかかっている福島県の子どもたちを対象とした「ふくしまキッズ夏季林間学校」の子どもたち28人が二・ホ・ロを見学しました。

子どもたちは、説明員の案内で館内を見学の後、納沙布岬に向い、北方領土問題についての理解を深めていました。



### 根室管内教育旅行誘致モニターツアーの皆さん。

このモニターツアーは、根室管内の各施設などを見学・体験してもらい、修学旅行を誘致しようと「根室管内教育旅行誘致推進協議会」が行っているもので、二・ホ・ロにも8月4日、関東地区の学校関係者と生徒たち45名が訪れました。



二・ホ・ロでは長谷川俊輔根室市長が出迎え、生徒はじめ学校関係者たちは館内を見学して北方領土問題に対する理解を深めていました。

## 沖縄・函館 豆記者団の皆さん。

8月1日、沖縄から50人・函館から13人の豆記者団が根室市を訪れ、市総合文化会館で石垣雅敏副市長から北方領土問題について取材、引続き地元中学生と交流を深めました。



2日に、一行は納沙布岬で歯舞群島の水島や貝殻島灯台などを見て、島の近さを実感した後、二・ホ・ロに訪れました。

帰りには、見学した感想をしっかりと述べてくれました。

◇◇ ありがとうございます。



現地に来て学んだこと、学校や家庭、地域の人たち一人でも多くの人に教えてあげて下さい…ネ。

## 新潟県民会議 現地視察団の皆さん。

8月25日、新潟県民会議 近藤和義会長を団長とする北方領土現地視察団15名が二・ホ・ロを視察されました。

展示されている資料をじっくり見学され、説明員に色々と質問されるなど関心の高さが覗え、北方領土問題に対する見識を深められていました。



## 静岡県富士市議会の皆さん。

8月28日、静岡県富士市議会の皆さん7名が行政視察のため根室市を訪れ、二・ホ・ロを視察されました。



根室市議会 波多雄志議長が出迎え、その後「北海道立北方四島交流センター」の建設された目的など施設概要の説明を受け館内を見学、北方領土問題の重要性を認識されていました。



## 石川県民会議 現地視察団の皆さん。

8月29日、下沢佳充県議会議長を団長とする北方領土現地視察団7名が二・ホ・ロを視察されました。



二・ホ・ロでは、元島民（歯舞群島 勇留島）で当館の専門員でもある高橋孝志さんから戦前の島での様子など講話を聞いたあと、館内を見学されました。

石川県民会議はこれまでも県内を中心に熱心な返還運動を推進しており、運動を拡大し、より効果的な運動へと、毎年、北方領土原点の地 根室に訪れています。

## 白糠町 町会連合会 「視察研修会」

8月29日、白糠町内連合会の皆さん22名が 北方領土視察研修会で二・ホ・ロを訪れました。

二・ホ・ロでは、根室市役所北方領土対策課の担当課長を講師に北方領土問題の認識を深め、館内を見学しました。



## 全国から「北方領土青少年現地視察団」が来館。

全国の青少年等に北方領土問題を身近にとらえてもらい、返還運動を継承してもらうことを目的に、北方領土問題対策協会（北対協）が取り組み、全都道府県民会議を主体に実施されている事業です。

小学生から大学生までを対象に視察団を編成し、北方領土隣接地域である根室管内を訪れています。

二・ホ・ロでは、館内視察・元島民からの講話のほか、地元高校生による北方領土授業などが行われています。

参加した生徒たちは、熱心にメモをとるなど返還運動を継承する大切さを学んでいました。

### ◆ 長野県（青少年現地視察団） 8月1日



◆ 京都府（青少年現地視察団） 8月2日



◆ 兵庫県・和歌山県・富山県（青少年現地視察団） 8月4日



◆ 秋田県・石川県（青少年現地視察団） 8月6日



◆ 三重県（青少年現地視察団） 8月7日



◆ 大阪府（青少年現地視察団） 8月8日



◆ 青森県（青少年現地視察団） 8月17日



◆ 山梨県（青少年現地視察団） 8月18日



◆ 愛媛県（青少年現地視察団） 8月19日



◆ 群馬県（青少年現地視察団） 8月20日



◆ 山口県・香川県・富山県（青少年現地視察団） 8月21日





◆ 静岡県・高知県（青少年現地視察団） 8月22日



◆ 栃木県・茨城県（青少年現地視察団） 8月25日



## 北方領土青少年塾

この事業は、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）が主催する根室管内の小・中学生に北方領土問題に対する正しい理解と認識をもってもらうことを目的に、平成13年度から実施しています。

生徒たちは元島民からの講話や、展示室・資料室で説明員の解説に耳を傾け熱心にメモを取るなど北方領土問題に対する知識を深めています。

### ＜8月21日 中標津町立計根別小学校4年生の皆さん＞



### ＜8月26日 別海町立西春別小学校 5、6年生の皆さん＞



## ＜8月27日 別海町立上春別中学校 1学年の皆さん＞



※ 返還運動の中心にある元島民の平均年齢は79歳を超えています。このような状況の中、北方領土返還のためには、元島民の思いを次代を担う青少年たちへ伝え残していくことが大切です。

皆さんが現地に来て学んだこと、学校や家庭、地域の人たち一人でも多くの人に教えてあげてほしいと思います。

## お知らせ

### ◆ 寄贈されました。

郷土資料のデジタル保存を進める電腦工房の川村俊也（中標津町在住）さんと福原義（別海町在住）さんから、「根室案内・全」（近藤亀次郎 著）の復刻版 DVD が寄贈されました。

国内の図書館では1冊しか蔵書が確認できないという根室の貴重書で、中には北方の島々の人口が明記されているなど、日本の領土であったことを証明する貴重な項目もあります。

（是非ご覧になって下さい。）



北方領土に関する

## 全国スピーチコンテスト 作品募集

北海道の北東に位置する択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は「北方領土」と呼ばれ、私たち「日本」の固有の領土です。

以前は多くの日本人が暮らしていましたが、現在はロシアに不法に占拠されています。

北方領土問題の解決のためには、一人一人が北方領土に関心を持ち、正しく理解することが何よりも大切です。

歴史的な経緯、解決方法、返還後のビジョンなど、みなさんが考えたこと、話し合ったことをスピーチとして発表してください。



応募期間： 平成25年7月10日（水）～10月31日（木） ※当日消印有効

応募対象： 中学生

主催： 独立行政法人 北方領土問題対策協会

お問合せ： ホームページ <http://www.hoppou-speech.jp>

ALSOK総合警備保障株式会社 法人営業第二部内「平成25年度 北方領土に関する 全国スピーチコンテスト」事務局 Tel.090-4749-2049